

# 入院診療計画書

PLIF










やわたメディカルセンター

様 入院日: 年 月 日  
 病名・症状: パス名: 担当薬剤師: 担当栄養士:  
 担当看護師: 総合的機能評価:

病棟: 号室

西暦 年 月 日  
 担当医:  
 西暦 年 月 日  
 患者様・ご家族様サイン

月 日  
 看護師:  
 月 日

期間	No	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
経過		入院～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後 1日	術後 2日	術後 3日	術後 4日	術後 7日	術後2週(8～14日)	術後3週(15～21日)	退院(術後3～4週前後)
達成目標	P	●患者又は家族が治療の内容を理解できる。 ●手術の目的、方法、合併症について理解できる。 ●手術前後の食事、安静度について理解できる。	●手術前後の食事、安静度について理解できる。 ●手術への不安が最小限である。	●麻酔から順調に覚醒する。 ●安静臥床ができています。 ●痛みのコントロールができています。 ●深部静脈血栓症を起こさない。 ●安静度が守られます。	●安静臥床ができています。 ●痛みのコントロールができています。 ●深部静脈血栓症を起こさない。 ●安静度が守られます。	●安静臥床ができています。 ●痛みのコントロールができています。 ●深部静脈血栓症を起こさない。 ●安静度が守られます。	●痛みのコントロールができています。 ●深部静脈血栓症を起こさない。 ●安静度が守られます。 ●歩行器で歩行することができています。	●痛みのコントロールができています。 ●深部静脈血栓症を起こさない。 ●安静度が守られます。 ●歩行器で歩行することができています。	●痛みのコントロールができています。 ●深部静脈血栓症を起こさない。 ●安静度が守られます。 ●歩行器で病棟内を歩くことができます。	●痛みのコントロールができています。 ●深部静脈血栓症を起こさない。 ●安静度が守られます。 ●歩行器で病棟内を歩くことができます。	●痛みのコントロールができています。 ●深部静脈血栓症を起こさない。 ●安静度が守られます。 ●歩行器で病棟内を歩くことができます。	●退院後の注意事項を理解し退院できる。 ●退院後の自主運動を習慣化している。 
退院基準	P											●【退院の基準】 ・独歩、階段昇降(1フロア)、入浴(コルセットを装着して)が可能になれば退院となり、外来でのリハビリテーションや運動施設での運動へ移行します。 ●退院時間は、9:30までにお願しております。
活動・安静	P	・病院内での活動は自由です。 ・ゲームンコルセットを作製してあるか確認します。		・ベッド上安静です。 ・ベッドを30度起こすことができます。 ・痛みが強い時は看護師の介助により身体の向きを変えることができます。 (お手伝いしますのでいつでも申し出てください)	・創のチューブが入ったままでも、コルセット装着し排泄時に離床できます。 ・創のチューブが抜けたら、担当セラピストとコルセットを着けて起き上がります。 (担当セラピストの設定時間までお待ちください) ・歩行器を使用して歩行することができます。 ・座って食事をとることができます。	・シャワー浴可能です。 		●術後1週目から、歩行できれば外出・外泊できます。	・仕事の復帰は医師に確認してから始めてください。 ・コルセットは2ヶ月間装着しましょう。2ヶ月を過ぎても重い物を持つ時は装着しましょう。	・仕事の復帰は医師に確認してから始めてください。 ・コルセットは退院後装着しましょう。特に重い物を持つ時は装着しましょう。	●外来でのリハビリテーションや運動施設での運動へ移行します。 ・仕事の復帰は医師に確認してから始めてください。 ・コルセットは退院後装着しましょう。特に重い物を持つ時は装着しましょう。	
栄養(食事)・排泄・清潔	P	●手術前日の21時から食事は食べられません。アメ、ガムも食べられません。水、お茶、スポーツドリンクのみ飲めます。  ・手足の爪切りをお願いします。 ●特別な栄養管理の必要性【有・無】	・手術が午前の場合は6時までで、午後の場合は8時まで水分をとることができます。(飲水前にお腹の動きを確認します) ただし、内服薬がある場合は6時に少量の水で内服してください。 ・トイレを使用できます。 ・点滴を始める前にシャワーをすることができます。	・手術終了6時間後から水分をとることができます。(飲水前にお腹の動きを確認します) ・食事が開始となります。 ・寝たまま食べることになり、食べやすいような爪楊枝での食事になります。  ・蒸しタオルで身体を拭き、更衣をお手伝いします。	・創フリーもしくはフィルム保護になれば、シャワー浴ができます。 ※シャワー浴、入浴は腰部の安静を守る事ができればコルセットを外してもよいです。 ・腰部の安静が守られればコルセットを装着しシャワー浴、入浴を行ってまいります。 ・上体を軽く前傾した姿勢で洗顔、靴下履き、床からの立ち上がり、足の爪切り、物を拾う動作が可能となります。		●栄養指導があります。(BMI25以上の場合、特別治療食を必要とする場合)		・創部の抜糸後に異常がなければ入浴できます。 			
治療・処置・検査・説明・指導	P	★手術予定時刻 時頃 ・マニキュア、ペディキュアを除去し、爪を切っておいてください。 ・口の周りの髭は全て剃ってください。 ・腰部のコルセットをお持ちの方は看護師にご提示ください。	・手術時間平均3～5時間程です。 ・部屋に戻る時間4～6時間程です。 【▼注意！】 ・直前までに、指輪、ネックレス等の装飾品や、眼鏡、コンタクト、ヘアピン、入れ歯は外してください。 ・上の下着は着用せずに手術衣に着替えます。 ・9時頃に左腕から点滴します。 	・手術直後から下肢の血流を良くするために、足をマッサージする機械を装着します。 ・手術中に傷の部分に血抜きが管が入ります。 ・病室時より酸欠マスケ心電図モニターをつけます。主治医の指示に従い外します。 	・採血があります。 ・傷のチューブは、出血状況に応じてガーゼ交換の時に抜きます。 ・手術中に傷の部分に血抜きが管が入ります。 ・1日3回(朝・昼・夕)抗生物質の点滴を行います。 ・トイレまでの歩行が問題なければ、尿の管を抜きます。	・出血状況に応じて、ガーゼの交換時に傷の部分のチューブを抜きます。 ・朝と昼過ぎ頃に抗生物質の点滴を行います。 		・採血があります。	・採血します。埋没縫合の場合は、抜糸はありません。フィルムを除去して、傷口の状態を確認します。 ・採血、レントゲン、CTがあります。	・1週間程で4階の回復期リハビリ病棟へ移ります。 ・採血、レントゲン検査があります。	・採血、レントゲン検査があります。	●独歩、階段昇降(1フロア)、入浴(コルセットを装着して)が可能になれば、退院です。 ●再診日は退院日が決定したら医師より指示がでます。 ・1週間程で4階の回復期リハビリ病棟へ移ります。
作業療法	P	・生活状況の情報収集を行います。 ・術後に備えての生活全般の動作指導を行います。	・お休み	・お休み								・自宅環境や生活のアドバイスをを行います。
理学療法	P	・術後より行う足関節・体幹の運動について説明します。 ・手術後に使用する歩行器の調整を行います。 ・起き上がり動作の練習を行います。 ・コルセットの着脱練習を行います。 	・お休み	・お休み	・術後理学療法が始まります。 ・排泄時に離床する場合は、コルセットを着着し動作の指導・確認をします。 ・腰部に負担のかからない運動を行っていきます。 ・痛みに応じて、コルセット装着し、坐る練習や立つ練習を行います。 ・痛みに応じて、コルセット装着し、歩行器にて歩行練習を行います。	・コルセット装着して、独歩の練習を開始します。 ・階段昇降の練習を行います。 ・痛みに応じて、足の爪切り、床からの立ち上がり、拾い上げ動作、入浴動作の練習を始めます。					●外来でのリハビリテーションや運動施設での運動へ移行します。 ・自宅で行う運動をご紹介いたします。 ・また仕事復帰にむけて動作指導を行います。	・自宅で行う運動についてご紹介いたします。 ・車の乗り降り、家事動作の練習を行います。